

CEL ホームページ

<https://www.og-cel.jp/>

エネルギー・文化研究所 (CEL) の活動内容や情報誌「CEL」バックナンバーをご覧になれます。

※CEL ホームページに掲載する「読者アンケート」にご協力願います。下記の二次元コードで読みとることもできます。



Facebook ページ

<https://www.facebook.com/osakagas.cel>

note コラム

<https://note.com/ognwcel/>

volume138
March 2026

特集

エネルギー・文化研究所の40年

2026 (令和8)年3月1日発行

発行

大阪ガスネットワーク株式会社
エネルギー・文化研究所(CEL)
〒541-0046
大阪府大阪市中央区平野町4-1-2

発行人

富尾博之

企画・制作

小西久美子

編集人

日下部行洋 (平凡社)

編集

株平凡社

アートディレクション & デザイン

okamoto tsuyoshi +

校正

朝日新聞総合サービス株

印刷・製本

株東京印書館

お問い合わせ窓口

大阪ガスビジネスクリエイト株
TEL 06-6205-4650
FAX 06-6205-4759
CEL@ogbc.co.jp

Research Institute for Culture, Energy and Life
©2026 OSAKA GAS NETWORK CO., LTD.

※禁断転載複製

※本誌掲載の寄稿文、インタビュー、レポートなどの内容は必ずしも大阪ガスネットワークの見解を示すものではありません。

※本誌掲載の寄稿文は、原則として執筆者の原文を尊重し、そのまま掲載しています。

※エネルギー・文化研究所は、1986年4月に大阪ガス株の企業内研究所として発足し、2022年4月1日以降は大阪ガスネットワーク株の企業内研究所として活動しています。そのため、2022年3月以前については大阪ガス株、2022年4月以降は大阪ガスネットワーク株での活動として表現しています。

CELからのメッセージ

ふる たす 故きを温ねて、新しきを知る

大阪ガスネットワーク株式会社 エネルギー・文化研究所

所長 富尾 博之 Tomio Hiroyuki

エネルギー・文化研究所(CEL)は、2026年4月1日に設立40周年を迎えます。40年の歩みの中で、多くの挑戦と成果を積み重ねることができたのは、ひとえに皆様方の温かいご指導とご支援の賜物であると感謝いたしております。

『CEL』138号では、CELの過去40年間の歴史を振り返りました。企画・制作にあたり、これまでCELを支えていただいた諸先輩方の取り組みや想いを伺いました。第6代多木所長は、CELの社内評価を高めるべく「コミュニケーション戦略」と銘打ち、研究会やシンポジウムなどで社内を巻き込み、イントラネットを活用した発信強化にも尽力されました。第7代木全所長は『CEL』誌の2度にわたるリニューアルを通じて「大衆化」路線を推進。常にわかりやすく伝える努力を惜しまないことをCELのメンバーに説き続けられました。第9代池永所長は、CELの使命は過去ではなく未来にあり、徹底して現代を見据え、そこに埋め込まれた未来の種を掘り起こす存在であるべきと語られました。また、企業内研究所である「サントリー不易流行研究所」「サントリー次世代研究所」において20年間近く調査研究に携わられた学校法人追手門学院の佐藤理事は、小さな研究所ほど「拠って立つところ」、すなわち、ミッションが重要であると述べられました。これら諸先輩方からいただいた示唆は、私たちが今後どの方向に進むべきかを議論する貴重な機会ともなりました。

次号の139号から141号にかけては、『住まい・暮らし』『都市』『エネルギー・環境』という、CELの原点ともいえるテーマで特集を予定しております。これまでの研究の蓄積を振り返りつつ、現メンバーそれぞれの研究分野の中にある共通点や相違点、バックグラウンドや人脈など、CELにおけるソーシャルキャピタルともいえるものを相互に活かし合い、10年、20年先の社会のあるべき姿を生活者の視点で提言していきたいと考えています。

エネルギー・文化研究所は今後も、研究と実践を通じて持続可能な社会づくりに貢献してまいります。引き続き一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様とご一緒に明るい未来を切り拓いていけることを心より願っております。